

— 青年技術士交流委員会の「技術士」知名度向上等の広報活動 —

公開「講演会」開催、「技術士ノート」作成しました

青年技術士交流委員会では、別稿の「学校へ行こう！」企画のほか、一般の方々向けに「技術士」を知ってもらうこと、またより一層、技術士が世の中の“役に立つ”こと等を目指し、知名度向上等を目的とした広報活動を様々な形で実施しています。

本稿では、平成 27 年 11 月に開催した公開型の講演会の様子と、今年度に当委員会で作成した技術士グッズ「技術士ノート」について概要を報告します。

1. 公開型講演会「伝える、伝わる。～実体験から学ぶ、心を動かすコミュニケーション～」の開催

(1) 開催概要

- 日時：平成 27 年 11 月 13 日(金)
17:30～20:00
- 場所：sapporo55 ビル 1 階インナーガーデン
(北 5 西 5 紀伊國屋書店札幌本店前)
- 参加人数：50 名程度
- プログラム
講師による講演会、トークセッションの実施
講師：(株)FOOD VOICE 代表取締役
今野 徹 技術士(農業部門)
コーディネーター：青年技術士交流委員会
副委員長 木本

(2) 講演会、トークセッション

技術士が担う最も重要な役割のひとつである技術や情報を「伝える」こと。せっかくの素晴らしい技術も、伝わらなければ、世の中のためにならないことは数多くあります。

私たち技術士も、知らず知らずのうちに、あるいは

は故意に、そのことを怠っていることがあるのではないか、そんな視点から「伝える」をテーマに、元・青年技術士交流委員会の幹事である今野技術士より、東日本大震災の際の東京電力福島第一原発事故を事例として講演をいただきました。

講演では実際に復興支援等に携わっていた立場での実体験を基にした話題を提供いただき、①技術というのは本来、「伝えるもの」ではなく「伝わるもの」、②情報が理解されない場合、「受け手」の責任ではなく、「出し手」の責任。そして特に原発事故による放射能等の問題＝リスクコミュニケーションに関しては③無関心にならない、諦めない、当事者意識を持ち続けられるような双方向性の確保が大事、等の話を提供いただきました。

引き続き実施したトークセッションでは、リスクコミュニケーションのような難しい問題＝科学的・定量的な数値等の説明が必要である一方、専門用語が多くて一般の方に伝わりにくいことの伝達に、私たち技術士が果たせる役割、担うべき責務等に触れ、少しでも一般の方が活用していただけるよう、技術士の紹介等をさせていただきました。



写真-1 今野技術士による講演の様子

2. 広報活動用の技術士グッズ「技術士ノート」の作成

(1) 作成概要

前号のコンサルタンツ北海道(第137号、p.79)で予告しましたが、青年技術士交流委員会オリジナルの「技術士ノート」を作成しました。

主に小学生高学年を対象とした内容で構成し、専門の部門ごとに技術士の仕事を紹介、仕事の一部を紹介する4コママンガやQRコードから携帯・スマホで動画が見られるほか、ノート端部には様々な単位のスケールを付ける等、身近な「技術」を感じてもらえるように、という形で作成しています。



写真-2 オリジナルグッズ「技術士ノート」

(2) 構想～完成までの経緯

昨年度より、当会では「技術士グッズ」作成に向けたアイディアブレインストーミングとしてワークショップを2回実施してきました(各回の詳細はコンサルタンツ北海道(第134号、第135号)の活動レポートを参照ください)。これらの活動成果として、今年度「試作版」として作成したのがこの「技術士ノート」です。

原稿データ等は当会で制作したもので、ノート本文中に入れている技術士各部門の仕事の一部を紹介する4コママンガやQRコードから表示される動画は、H26 全国大会(福岡)青年技術士の集いでの成果を基に、九州本部の青年技術士交流委員会が制作したものです。

(3) 一般のお子さん向けの配布状況

エンジョイ・サイエンス研究委員会と合同で参画した寒地土木研究所による「環境科学展」にて来場の小学生等に配布したほか、前述の紀伊國屋書店前で実施した公開講演会の開催時に、親子連れの出場者等に配布しました。その他、昨年度のワークショップ参加者や当会幹事メンバーのお子さん、10月に開催されました全国大会(富山)で全国各地域本部、また各地域本部で実施している子ども向けイベント等で配布しました。結果、今年度制作した500部はほぼ全て配布完了した状況です。

(4) 「技術士ノート」の今後

現在、今回の試作版の実際の「使われ方」等を幹事等を通して情報収集しています。今後、このノートのデザインにフィードバックし、より完成度を高め、引き続き技術士の知名度向上等に向けた「グッズ」として活用していく予定です。

あいにく今年度制作分の在庫はなくなってしまいましたが、本件のお問合せ等はお気軽に青年技術士交流委員会までご連絡ください。

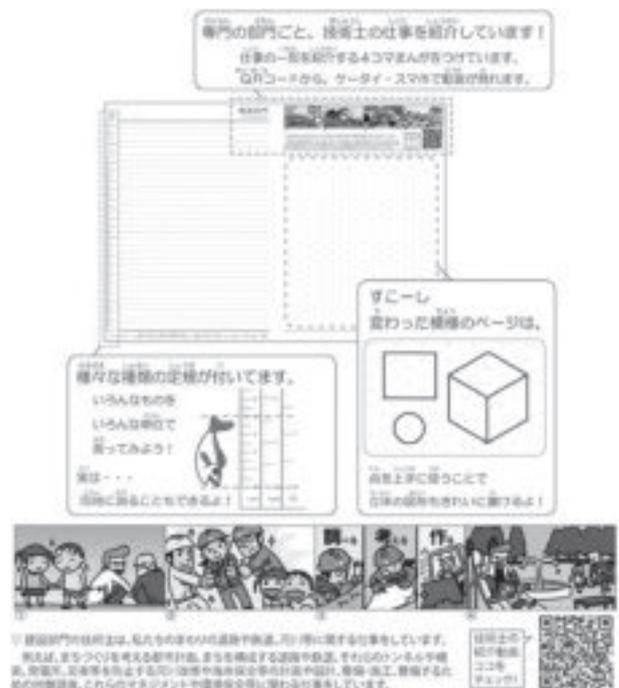


写真-3 「技術士ノート」の概要等
上段：ノートの使い方(解説部分)抜粋
下段：技術士の仕事紹介(建設部門の例)